

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ひかり砂川（放課後等デイサービス）		公表日		2025年3月31日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		9	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		7	2	長期休みには、手が足りないと感じる時がある・職員のシフトの都合で手薄になる時がある・ほとんどの日は配置数は適切だが、シフトの関係に寄り少ないと感じる日があった。	職員は適切に配置されています。活動によってはマンツーマン対応ができる人数や遠方の送迎に対しての人数調整を行っています。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		9		・視覚支援で手洗いの促しや、入室禁止の表示を工夫している	事業所内については玄関に段差がありますが、室内はおおむねバリアフリー化されています。また、在籍しているお子様の状況に合わせてその都度環境整備を行っています。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		9		毎朝掃除を行っているので清潔である	毎日清掃を行うことで、事業所内の清潔を保っています。また、活動に合わせた環境を整え、換気や加温も行うようにしています。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		9		事務室のスペースや個室を活用している・2階の個室を活用できる	賑やかな環境が苦手なお子様には個室で過ごすよう促したり、不安定になったときにはクールダウンできる場所を提供しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		9		会議等で参画出来ている	業務改善を進めるため日々の業務に関して職員間で振り返りを行い、話し合う場を設けています。日々の会話の中で気づいたことを伝えあうことで改善につなげるきっかけになっています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		9		職員間で共有している まだ見たことが無いので見たい	年1回評価アンケートを配布し、保護者様からご意見をいただいています。アンケートでのご意見を参考に事業所の業務改善やより良い支援に繋げています。どなたでもHPからご覧いただけます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		9			管理職による職員面談を年数回設けており、意見を等を伝えられる場合があります。また、会議等で課題や意見を出し合い、その内容を話し合うことで業務改善につなげています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	2		現在、他機関による第三者評価は実施しておりません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		9		積極的に参加させていたいただいている	社内で開催する研修や、外部で開催される様々な分野の研修に参加することで職員の資質向上に努めています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		9			支援プログラムに関しては、今年度中に作成し公表する予定です。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		9		保護者へ説明、同意を得ている	個別支援計画を評価する際には、児発管が面談を行い、本人及び保護者様のニーズをお聞きしています。その後、意向をもとに職員間で課題分析をし計画を作成しています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		9		・個々で話し合う場面はあるが、共通理解が全体でできているかわからない	計画作成時には児発管だけでなく、職員全体で話し合い課題の分析をしています。そうすることで共通理解が深まり日々の支援にも役立っています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		9		・計画書の支援内容をもとに日々の記録を残している	日々の個別支援記録は、個別支援計画に沿った記録となるため職員間で共有されています。支援計画を意識した関わりができるよう職員間で状況把握に努めています。

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9			全事業所共通のアセスメントシートを使用しています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9			ガイドラインに基づいた個別支援計画を作成し、具体的な支援内容を設定しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9			年間行事計画をもとに、毎月担当者がレク案を提案し、それをもとに全体でプログラムを組み立てています。また、年間を通して取り組む活動についてはスケジュールを組み進めています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9			月に1回レク会議を行うことで、プログラムを見直し、活動が固定化しないように進めています。今後も様々なツールを活用しながら日々、新しい活動を取り入れていきたいと思っています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9			個別課題、集団活動での課題、両方の視点から支援内容を組み合わせ個別支援計画を作成しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		朝礼を行っている	毎朝行なうミーティングの中で、その日の役割分担や支援内容を確認する時間を確保しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		朝打ち合わせで、振り返りが出来ている・共有されている時もあるが、出来ていない時は自分の中で反省をしている。	毎日記録する個別支援計画をもとに支援の振り返りを行い職員間で共有しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			支援終了後に個別支援記録を記入し、支援内容の検証、改善に繋げています。職員間で話し合う時間を設けることで日々の様子を様々な角度から共有することができています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			現在は6ヶ月毎に、本人及び保護者様と面談させていただき個別支援計画の見直しを行っています。また、6ヶ月以内であっても必要に応じて見直しを行う場合もあります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9			「自立支援と日常生活の充実のための活動」「多様なあそびや体験活動」「地域の交流活動」及び「こどもが主体的に参画できる活動」を複数組み合わせながら個別支援計画を作成し支援を行っています。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		カンファレンス等行っている・活動の中で、自主性を大切に関わる設定を入れている ・製作活動などで、自分の思いを表現できる機会を増やしている ・SSTを活用し自分もお友達も色々な思いがある事を体験でき利用に設定している	日々の支援の中で、一人ひとりがその場にあった自己選択、自己決定ができるよう配慮しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			主に児発管が参加しますが、日々子どもと関わる保育士が対応する場合もあり、状況を共有しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9			医療機関とは、ひかりでの様子をお手紙で渡したり、受診時に同行し直接お話しさせていただくこともできます。また、各関係機関と連携を深めることで日々の支援をより円滑に進めることができます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9			学校とは送迎時の引継ぎや電話等を活用し常に情報共有をしています。また学校へ訪問し話す機会を設けたり、ケース検討会議を開催したりしています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9			就学前の関係機関とは連絡を取り、必要に応じて情報共有をさせていただいています。今後も状況に応じて連携体制を整えていきたいと思っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9		・学校を卒業する子が居ないのでわからない	今年度は対象児が不在ですが、障害サービス事業所へは、実習時に見学に行ったり、在学中のひかりでの様子を引き継いだり情報提供をしています。

関係機関や保護者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9			今後必要などときには助言をいただくなど連携を図っていききたいと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	2		現在は交流できていない状況にあります。今後長期休暇等を利用し交流の機会を検討していきます。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	8	1		砂川市障がい者虐待防止連絡協議会に参加しています。自立支援協議会にも積極的に参加の意思を伝えて行きます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		送迎時や連絡帳などを用いて共有している	計画作成時の面談のみではなく、送迎時や電話、LINE等を使って話をする機会を設けています。日々のお子様の様子を伝えるとともに、ご家庭での様子も伺い共通認識のもと支援にあたっています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		ペアレント・トレーニングの研修を受けさせて頂いたので促してみたい	ペアレント・トレーニングといった専門的なものではありませんが個々の特性を踏まえたうえでの関わりや、子育てに関してのアドバイス等をお伝えすることができています。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9			運営規定、利用者負担等は契約時に説明しており、支援プログラムについてはHP上で公表する予定です。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			本人及び保護者と面談する機会を設け、意向を確認するとともに個別支援計画に反映しています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9			面談を行う中で、計画を読み合わせながら丁寧に説明し同意を得ています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	2	もっと具体的に出来るようになりたい(療育的な事)	相談を受けたときには、必要に応じて面談の場を設けたり、電話でお話しさせていただいたりしています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	9			現在、父母会や保護者会といった活動は行っておりません。系列事業所で開催される保護者交流会の案内を配布させていただいています。また、イベントを通して保護者同士の交流が図れるよう企画し参加いただいています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			苦情への対応につきましては迅速に対応、解決できるように体制を整えています。苦情受付窓口につきましては、重要説明事項に記載されております。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9			定期的にお便りを発行し情報をお伝えしています。行事の案内や事業所でのお子様の様子等は写真を用いて発信しています。また、事業所でのレクリエーションの様子はInstagramを活用し配信しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			全職員が細心の注意を払っております。関係機関との連携以外は知れた情報が漏れることがないように徹底しています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	1		個々に合わせ、丁寧な情報伝達を心がけています。今後も正確な情報伝達や意思疎通に向けて様々な方法を検討していきます。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	1		地域の町内会活動に参加しています。今後も地域との交流ができるよう連携を図っていきます。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		定期的に委員会を開き、職員間で共有している	各マニュアルは全事業所共通のものを作成し職員間で周知しています。保護者様へのマニュアルの周知はできていませんが、感染症の情報提供や避難訓練の実施状況など毎月のお便りや随時配布されているレターでお知らせしています。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9			毎月様々な災害を想定し、避難訓練を実施しています。不審者対応訓練では警察に、火災通報訓練では消防に入ってくださいと、より実践的な訓練ができるよう計画しています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	1		契約時や、新年度の利用調査票に記入していただくことで確認状況の把握をしています。いただいた情報につきましては職員間で共有しています。

非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9			アレルギーがあるお子様に関しては、保護者様との面談等で確認しています。必要がある場合は医師の指示書に基づき対応しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			安全な環境が保てるよう努めています。事業所から1名委員会に参加し、職員に伝達することで安全管理への意識を高めています。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1		連絡体制については、各家庭より第3連絡先までをお知らせいただいています。連絡方法等については保護者様へ説明しています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			ヒヤリハットについては、その都度作成し職員間で検証および共有をしています。今後も大きな事故を未然に防ぐことができるよう日々の振り返りを大切にしていきたいと思っています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		・全体研修で、虐待について研修している	定期的に研修を行い虐待防止に努めています。また、外部での研修にも積極的に参加し職員間で伝達研修を行っています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9			現在、身体拘束を行う必要があるお子様の利用はありません。必要な場合は個別支援計画に記載するほか、本人及び保護者様に対して説明、同意をいただきます。